

都留市観光協会有志自主事業

都留文科大学生×地域×行政連携プロジェクト

「都留の観光を考える会」2025 年度活動報告会の開催について

都留市観光協会では、令和 6(2024)年度に会員有志による「都留の観光を考える会」が発足し、つる観光戦略に基づく観光振興を推進する事業を検討してまいりました。令和 7(2025)年度には、20 名以上の都留文科大学生が会に参画し、産官学が連携して活動を発展させてきました。

この度、2025 年度の活動報告と今後の観光振興に向けた施策提言の場として、活動報告会を行います。

(1) 開催日・開催場所

開催日：令和 8 年 3 月 24 日(火)午後 1 時 30 分から午後 3 時(受付：午後 1 時から)

開催場所：都留市役所 3 階大会議室

(2) 内容

○観光を考える会の立ち上げ経緯など概要説明

○学生メンバーによる活動報告

【都留の観光を考える会とは】

本会は、令和 5 年度～令和 8 年度を計画期間とする「つる観光戦略」に基づき、地域が一体となって観光振興に取り組み、都留市を活性化させる、実務部隊となる会を立ち上げよう、という有志事業者様による声掛けを受け、令和 6 年 6 月に発足しました。

令和 7 年度からは、都留文科大学の学生がメンバーに加わり、学生×地域×行政連携プロジェクトとして、ツアープランの試験販売やつる産業まつりへの出店、アンケート調査などを実施してきました。

2025. 7

試験実施するラフティング
ツアーの体験



2025. 10 つる産業まつり 2025

出店 アンケート調査を実施



2026. 3 総務省地域力創造ア

ドバイザーの登録人材である
桜井様の都留市訪問



「都留の観光を考える会」の歩み

本会の趣旨

「つる観光戦略」のもと、観光に携わり、思いをもった人々が、それぞれにできることを考え、都留の観光を盛り上げる具体的な方策を、主体的に推進する。

令和6年度の活動

第1回	自己紹介、意見交換 観光に関するキーワード、強みや課題の整理
第2回	「市の課題」「市民の思い」→観光からどうアプローチするか議論
第3回	会としての方向性や取り組みについて整理
第4回	講演会の開催（講師：産業技術短期大学校観光ビジネス科准教授）
第5回	講演会の内容共有、会として実施できる活動の意見だし
第6回	都留市独自の周遊・体験型観光のコンテンツについて意見だし
第7回	第6回の続きから 「自然」「歴史文化」テーマのツアープラン検討
第8回	次年度の活動計画について協議→学生メンバーを集めることが決定

都留の観光を考える会 第1回(2024.6.11)まとめ

①都留の強み・魅力

場所・環境

- ・自然が豊か
- ・水がおいしい
- ・自然との距離が近い
- ・首都圏からのアクセスの良さ（大月のバイパス開通により大月ICで下りる都留への来訪者が増えた）
- ・お寺が多い
- ・天気左右されない屋内施設（リニア見学センターなど）
- ・都留のお店は美味しい！

文化・歴史

- ・城下町としての歴史
- ・スポーツの中でも「野球」長い伝統がある

人

- ・都留市の「ファン」関係人口を増やしていける
- ・「都留を良くしたい」熱い思いをもった人たち
- ・都留文科大学をはじめとする学生（学生ならではのアイデア・企画）

その他

- ・資源がまだ眠っている、ポテンシャルを秘めている
- 活かしきれていない、継続が難しい
- ・今から新しい「見どころ」を生み出してほしい

②どんな都留でありたいか

魅力づくり

- ・現在は富士五湖エリアへの「通過点」になってしまっている
- 「通過点」ではなく、滞在してもらいたい
- ・「城下町」らしさを分かりやすくアピールする
- ・まちなか（商店街）の活性化

まちづくり

- ・一部の人が盛り上がるのではなく、市全体で「都留を盛り上げよう」というシビックプライドを醸成する
- ・大学生と一緒に都留を盛り上げる

都留での「滞在時間」を増やす

市全体でまちを盛り上げる

③自分ができること、これからしたいこと

観光プログラムの開発

- ・体験型アクティビティの開発 →県内他市町村との差別化、「都留らしさ」オリジナリティが必要
- ・夏季合宿の受け入れ（団体の誘客） →合宿の目的地以外での体験プログラム、周遊の仕組みをつくる
- ・周遊型観光の開発（アクティビティ、食事、温泉、宿泊、……） →都留の中に「目的地」を複数つくる
- ・観光客の滞在時間を長くする（見どころ、スポットを増やす）

情報発信

- ・道の駅つるにおける積極的な情報発信（ホームページなどを活用）
- ・インバウンドの誘引には情報発信の工夫が必要 →SNSの「生きた情報」が重視される
- ・インフルエンサーとのコラボ（お祭りのイベントなどに合わせた企画なども検討）

次世代へのアプローチ

- ・未来の担い手を増やす（後進の育成）、若者が活躍できる土壌づくり

周遊型・滞在型観光

→「都留にしかない」体験、みどころ、目的地

- ・1スポットあたりの滞在時間が短い
- ・SNSでバズった「映えスポット」を目当てに来る

情報発信の強化

→SNS、インフルエンサー、インターネットのSEO強化

④その他

- ・観光推進に対する規制の緩和、寛容さがほしい
- ・黒旗をせっかくつくっているので、城下町エリア全体に広げられないか
- ・ふるさと時代祭りの時に屋台の曳き手として、学生や外国人観光客を呼び込みたいが、保存会の予算も足りず、法被を用意することもできない（インバウンド誘致の一環としては用意したいところ）
- ・バスや電車の車内広告、駅広告などで観光情報をPRできないか

令和7年度の活動

2025.6 学生メンバーが合流
3チームに分かれて活動開始



2025.7~
チームごとにミーティングを開催
市内観光施設の見学などを個別に実施

2025.10 つる産業まつり2025に出店
アンケート調査を実施



2025.7
試験実施するラフティングツアーの体験



2026.3 総務省地域力創造アドバイザーの
登録人材である桜井様の都留市訪問

